

7月1日(月)
オープン!
のいち駅前

香南市 総合子育て支援センター「にこなん」

■こども課 ☎57-7522 FAX 55-1045



香南市総合子育て支援センター「にこなん」は、保育所・幼稚園に通っていないお父さんの子育てをしているお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、また、これから子育てを始める妊娠中の方など、多くの方が自由に集って気軽に利用できる場所です。

子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進することを目的とする【地域子育て支援センター】と【病後児保育施設】も併せて開設します。

●地域子育て支援センター

【開設時間】月曜日～金曜日 9時～17時
(親子の交流広場 9時～15時)

【対象】就学前の児童 妊婦とその家族

【費用】無料

主な事業

【育児学級・子育て講座】

育児に関する講座・親子教室など

【各課連携事業】

妊産婦支援・パパママ教室・育児相談・にこにこセミナー
助産師出張相談・離乳食講習会・栄養相談など

子育ての話をしたり、悩みを相談したり、情報交換をしたりしながら、親子で楽しく遊びませんか？

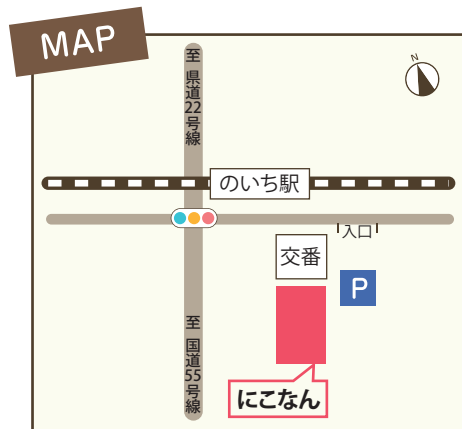


●病後児保育施設

【開設時間】月曜日～金曜日 8時～16時

【対象】病気の回復期で、集団生活が困難なお子さん(生後6カ月から小学6年生まで)

【費用】4時間以上:2,000円
4時間未満:1,000円 ※減免制度有り
※申込手続き等詳しいことは、7月号でお知らせします



7月20日(土)
9時30分
～11時30分
(受付9時～)

「にこなん」 オープン記念講演会

テーマ「あなたの子育て応援します」

講師 濱川 博子 先生
(高知県臨床心理士会副会長
高知県スクールカウンセラーのスーパーバイザー)

場所 にこなん
※駐車スペースに限りがあります。香南市役所の駐車場は利用できますが、その他の場所への駐車はご遠慮ください

対象 就学前のお子さんがいる方

参加費 無料 定員 100人

申込 7月5日(金)までに申込書をこども課、または、市内保育所・幼稚園・子育て支援センターにご提出ください。
※定員になり次第締め切らせていただきます

託児付き 満6カ月～就学前の児童
事前申込みが必要で、先着15人。香南市在住の方が優先になります。現在保育所に通園しているおさんは、各所でお預かりします。幼稚園に通園しているおさんは、野市幼稚園でお預かりします。
※申し込み用紙は、こども課、保育所、幼稚園、子育て支援センターにあります



健診結果が出たら…

健康対策課
☎ 57-7516

集団健診を受診した方には、健診から1カ月ほどで自宅へ結果が届きます。



- 晴れマーク…………… 異常なし
- 曇りのち晴れマーク…………… 軽度異常
- 曇りマーク…………… 要経過観察
- 雨マーク…要精密検査(または要再検査)
- 医療機関マーク……………医療機関受療中
- 雷マーク…………… 要医療



健診結果の見方を説明します

けんしん結果説明会

受付時間: 9時～ 講座: 9時30分～10時30分(予定)

場所	開催日
香我美保健福祉センター	8月27日(火)
大峰の里(夜須町)	9月17日(火)
赤岡保健センター	7月23日(火) 12月20日(金) 令和2年3月10日(火)
のいちふれあいセンター	9月13日(金) 9月25日(水) 令和2年1月16日(木)

※参加希望の方は健康対策課まで事前にお申込みください

特定保健指導とは、健診結果のメタボリックシンドロームのリスクに応じて、生活習慣の改善が必要な方に行われる保健指導です。対象者は、3～6カ月にわたり、保健師や管理栄養士が生活習慣改善に向けてサポートしています。

結果によっては
特定保健指導が
あります。



家庭で気軽にできるストレッチなどの運動や食生活改善についての講座です

■運動の講座…運動指導士が家庭で気軽にできるストレッチや体のケアについて実践を交えながら楽しく説明します。動きやすい服装で飲み物持参で参加ください。

■生活習慣病と栄養の講座…保健師と栄養士がいろいろな教材を使って、楽しみながらできる生活習慣のポイントを説明します。

けんこうアップ講座(前期)

場所: 赤岡保健センター
受付時間: 9時～ 講座: 9時30分～11時(予定)

- ①運動の講座…………… 9月26日(木)
- ②生活習慣病と栄養の講座…… 10月11日(金)
- ③運動の講座…………… 10月24日(木)



※参加希望の方は健康対策課まで事前にお申込みください

40歳・50歳代の皆さん。
忙しくても大切な身体のこと、忘れないでネ。

生活習慣病が重症化する
と、脳卒中や人工透析など
生活が一変する恐れが
あります。取り返しのつか
ないことになる前に生活
習慣を見直すきっかけとし
て健診を受けましょう。

